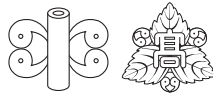


済美同窓



茨城県立水海道第一高等学校
済美同窓会会報（年一回発行）

令和3年8月10日号

茨城県立水海道第一高等学校内

済美同窓会

茨城県常総市水海道亀岡町2543

T E L (0297) 22-0029

郵便番号 303-0025

印刷所

岩見印刷

茨城県常総市水海道橋本町3500

会 員 数		
総 計	26,571名	
旧制中学	46回	3,525名
新制併設 中 学	2回	90名
新制高校	全日73回	21,397名
	定時64回	1,559名

ごあいさつ

済美同窓会会長 関 口 衛（高全8回卒）



済美同窓会員の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。
昨年は、母校水海道一高創立百二十周年の年でありました。しかし、日本列島は新型コロナウイルス感染拡大による自

粛ムードの中、満足以創立百二十周年記念事業実行委員会も開けず、紙上会議となりましたが、記念式典の挙行・済美同窓会館の回収・記念誌の発行・会員名簿の発行（既刊）等の計画しました事業につきましては、海老沼校長先生を先頭に教職員の先生方の献身的努力により完遂することができました。事業資金としては、PTA並びにたくさんの会員の皆様から協賛いただきました。心から御礼申し上げます。ありがとうございます。今春の異動で、33回卒業生高橋淳先生が校長として戻って参りました。来年は附属中学校が開校いたします。水海道一高にとっては開校以来の大改革であります。母校発展のため益々のご尽力ご期待申し上げます。

さて、学校の近況であります。今春進学実績は、国公立大学91名、早稲田大学11名を始め難関私立延べ655名の合格者は過去最高ではないでしょうか。水海道一高の社会的評価はますます高まるものと思います。先生方の熱心なご指導のたまものと感謝申し上げます。一方、辛口を申し上げます。下妻一高との定期戦であります。昨年は中止になりましたが、今年は種目ごと会場別に変則的に行われました。結果は、善戦はしたものの敗戦しました。このところ敗戦続きであります。

文武両道の精神と負けじ心を發揮して来年こそは勝利してほしいものであります。会員の皆様も練習風景など見学し激励のほどお願い申し上げます。

最後に新型コロナウイルス、新型株の1日も早い完全終息と会員の皆様のご多幸をお祈りし、済美同窓会活動にご支援ご協力の程お願い申し上げます。

済美同窓会の皆様へ

校 長 高 橋 淳（高全33回卒）



済美同窓会の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご支援をいただきまして、心より御礼申し上げます。私は、令和3年4月より本校に着任いたしました、高橋淳でございます。本校への奉職は、平成8～9年度（2年間）、平成19～27年度（9年間）に次いで、3回目となります。これまでと相変わりなく、ご指導いただけますようお願いいたします。

さて、令和2年度は、長い日本の歴史の中でも、まさに未曾有の年となりました。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、公教育を担う学校が長い間の休業を余儀なくされたことを指すのは、言うまでもありません。限られた時間の中で、単位認定となるための授業時数の確保、大学合格を勝ち取ることに十分な学力の向上、生徒の心身の健康管理とキャリアの形成など、学校としての課題が満載の中、無事に年度を終了させ、生徒諸君を健やかに一歩大人に成長させることができたのは、他ならぬ済美同窓会の皆様の見まもり・ご支援によるものと、深く感謝してこの春を迎えました。

しかしながら、まだまだ落ち着かない日が続き、今年度も対面による済美同窓会総会が開催できないことは大変残念であります。この埋め合わせとして、どのように会員相互の親睦をはかっていただき、どのように先輩方からの声を生徒諸君に伝え響かせていくか、鋭意検討しているところです。

すでに皆様、報道等でご存じのように、本校は令和4年度に併設型中学校が開設される運びとなりました。それに伴い、今年度は校内に開校準備委員会が発足し、準備職員として新たに専任の教頭及び教諭が配置されています。これからますます、中学生も高校生も夢がきらきらと輝けるような学校にすべく、校長はじめ全教職員で邁進する所存です。言わずもがな、地域に根ざし、地域から期待され、世界へ未来へ羽ばたく人材育成が最も重要なことであり、そのためには学校と保護者、同窓会、地域が生徒とともに一枚岩、すなわち「チーム海高」を構成することが不可欠であります。

今春は（過年度の卒業生を含め）、国公立大学合格者91名、早慶上理28名・MARCH57名をはじめとする私立大学合格者のべ655名と、個々に努力を实らせ、本校の歴史に華を添えてくれました。また、運動部・文化部ともに関東や全国大会への出場権を勝ち取るなど、限られた中でも創意工夫をこらし、母校の名声を広げる活躍を送っております。在校生の生徒諸君は、文武共に先輩に見習えと士気高揚の日々を送っております。同窓会の皆様には、今後ともさらなるご支援を賜れば幸いです。

創立百二十周年記念式典が挙行！

令和2年10月10日(土)、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、本校では最大の感染防止対策を取りつつ、創立百二十周年記念式典が体育館アリーナで挙行されました。新型コロナウイルスの影響もあり、当日は予定されていた関係者や出席者の数を減らし、また、内容を簡略化することで時間を短縮して行われました。

式典自体は簡略化されたものの、



来賓受付をする女子生徒

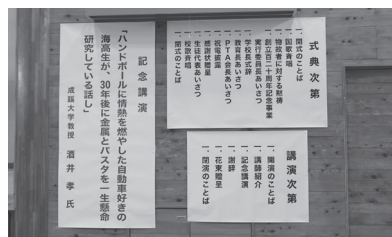


来賓入場

歴史・伝統の重みを改めて強く感
百二十周年記念式典実行副委員
ももちろんですが、同式典実行委
員はじめ、同式典副実行委員長の中
に、小川一成様（高全18回卒）、
（上）の5名、そして、同式典幹事
の野村清様（高全7回卒）、程
田充彦様（高全23回卒）、小林
清様（高全40回卒）、稲石英志
様（PTA監事）の4名、さら
に同式典理事の市川陽一様（高
全20回卒）、中山栄一様（高全
21回卒）、倉持悦典様（高全
14回卒）、稲葉忠男様（高全8
回卒）、飯田士朗様（高全14回
卒）、根本久美子様（PTA副
会長）の6名、さらに、茨城県
教育長小泉元伸様、以上の方々
にご出席をいただきました。



当日の正門前



式典式次第と記念講演演題

生徒の式典出席者は、3年次の生徒274名、吹奏楽部の生徒30名、そして生徒会代表の生徒2名とし、1・2年生を含む、全校生徒の出席は控えることとなりました。1・2年生にとっては、とても残念なことではありますが、出席できた生徒たちはみな、ご挨拶をいただいた関係者の言葉をひとことひとこと、真剣なまなざしで噛みしめるように聞き、この日の瞬間を心に刻んでいたようです。



学校長式辞
(海老沼洋前校長)



関口実行委員長あいさつ



PTA 会長あいさつ
(櫻井智行様)



教育長挨拶（小泉元伸様）



開式のことば（小川実行副委員長）